

授業科目	保育内容「表現(造形・絵画表現)」(AB クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH21408J		
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP5-2 DP5-3			
担当教員	谷口 幹也							
授業概要	本授業では、保育所保育指針、幼稚園教育要領について理解し、領域「表現」のねらいと内容を学ぶ。造形表現に必要な様々な材料用具、方法について学び、絵本を活用した表現・造形活動の保育計画の立案に取り組み、援助の在り方・指導法・環境構成の方法を学修する。							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 幼児教育における造形の専門的知識を身に付け、保育や教育の現場での造形の役割を理解する。自ら創作体験を行うことで、材料の特性をつかみ、色や形や空間(場)について実感し、幼児の指導者として、豊かな表現活動を展開させる力を持つことができる。</p> <p>2. 自己の感覚や感性を磨き、創造性を養う。そこでの創造性を、保育や教育の場で自ら課題を発見し、それを創造的に解決する能力につなげる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	20	60	20	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)		20	20				40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			20	10			30	
技能・表現 (DP5-3)			20	10			30	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1.遊びを通じた表現、造形活動の意義を説明することができる。 2.領域「表現」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想し実践することができる。 3.保育者に必要となる主体的な学びと協働を実践することができる。				領域「表現」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想し実践することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	オリエンテーション 授業の概要について説明し、目的、達成の目安、評価の内容と方法について解説する。 「幼稚園教育要領」・「保育所保育指針」の表現(造形・絵画表現)の内容について解説する。	講義	講義の復習。	60
2	身近なものを使った造形活動(1) ビニール袋を使用した活動を体験し、幼児教育における保育者の役割、幼児における表現の発達について解説する。	演習	実施した内容について子どもの実践できるように考える。	60
3	グループによる造形活動(1) 光と影による表現活動を行い、豊かな体験を導く保育活動を学ぶ。	講義・演習	実施した内容について子どもの実践できるように考える。	60
4	グループによる造形活動(2) 光と影、スクリーンによる表現活動を行い、表現の広がりを通じた保育活動を学ぶ。	演習	実施した内容について子どもに実践できるように考える。	60
5	幼児教育における保育者の役割、幼児における表現の発達について学ぶ。	講義	講義の復習。学んだことを子どもに実践できるように考える。	60
6	幼稚園教育要領・保育所保育指針「表現」領域を理解し、年齢や発達に応じた、保育計画案の作成方法、環境構成を学ぶ。	講義	講義の復習。学んだことを実践できるように考える。	60
7	絵本を活用した表現活動の保育計画の立案、導入方法を解説する。	講義・演習	実施した内容について子どもに実践できるように考える。	60
8	グループによる研究活動(1) 絵本の選定、保育計画の立案	演習	実施した内容について子どもに実践できるように考える。	60
9	グループによる研究活動(2) 導入方法の研究、発表に向けての準備	講義・演習	実施した内容について子どもに実践できるように考える。	60
10	グループによる研究活動(3) グループ発表、グループ討議と省察	演習	実施した内容について子どもに実践できるように考える。	60
11	グループによる研究活動(4) グループ発表、グループ討議と省察	演習	実施した内容について子どもに実践できるように考える。	60
12	グループの研究発表の成果もとに、保育における評価、保育活動を反省し改善する方法、視点を学ぶ。	講義・演習	講義の復習。学んだことを実践できるように考える。	60
13	ビデオ映像による学習 海外の幼児教育の事例を鑑賞し、グループ討議を行う。	講義・演習	講義の復習。学んだことを実践できるように考える。	60
14	子どもと文化 学び成長しつづける保育者について解説する。	講義・演習	講義の復習。学んだことを実践できるように考える。	60
15	総括およびまとめ	講義・演習	授業を総括し、自身の課題と展望を整理する。	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日常的に美術鑑賞や造形関連書籍を読むことで造形・絵画に親しみ、表現分野の知識について探求する時間を持つことが必要です。また、子どもの関心・興味について実習等で観察しておくこと。			
テキスト	授業内でプリントを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業で実施した造形活動を子どもへの活動につなげることを常に考えてください。ひとつの材料でも様々な活動に展開できるように、知識と技術、それと発想力を養ってください。			
達成度評価に関するコメント	課題の内容、発表のポイントについては授業で詳しく述べます。			